



# 内部障害

内部機能の障害であり、身体障害者福祉法では「心臓機能」「呼吸器機能」「じん臓機能」「ぼうこう又は直腸の機能」「小腸機能」「肝臓機能」「ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能」の7種類の機能障害が定められています。

## 内部障害のある人はこんなことに困っています

- 外見から分かりにくく、周りから理解されにくいいため、電車やバスの優先席に座りにくいなど、心理的ストレスを受けやすい状況にあります。
- 障害のある臓器だけでなく、全身状態が低下しているため、体力が低下し、疲れやすくなります。重い荷物を持ったり、長時間立っているなどの身体的負担を伴う行動が制限されます。こうしたことから集中力や根気が続かない面があります。特に肝臓機能障害の人はこういったことが、顕著にあらわれます。

## 内部障害のある人と接する時は

### ポイント1

「外見からはわかりにくい障害」があることを理解しましょう

障害の種類や程度は様々です。外見ではわかりにくく、周りから理解されず苦しんでいる障害のある人がいることを知しましょう。



### ポイント2

決められたルールやマナーを守りましょう

車内等で携帯電話を使用する時は、内部障害のある人にとって命に関わるものであることを知ったうえで、ルールやマナーを守った行動をしましょう。



### ポイント3

風邪などをうつさないよう配慮しましょう

体力が低下しているため、風邪などに感染しやすくなっています。また、障害のある臓器に悪影響を及ぼすこともあるので、周りの人は注意しましょう。





# 知的障害

知的障害のある人は、知能の遅れや社会生活への適応がしにくいなどの特徴があります。重度の場合、常に同伴者と行動する人もいますが、障害が軽度の場合は、会社で働いている人も大勢います。

## 知的障害のある人は例えば、次のような特性があります

- 複雑な会話や抽象的な概念を理解するのが苦手です。
- 人に尋ねたり、自分の意見を言うのが苦手な人もいます。
- 漢字の読み書きや計算が苦手な人もいます。
- ひとつの行動に固執したり、同じ質問を繰り返す人もいます。



## 知的障害のある人と接する時は

知的障害のある人の中には、重度で判断能力を欠く人もいます。障害がある人の目線で接してください。

### ポイント1 ゆっくり簡単な言葉で話しかけましょう

「一方的に話す」「ひとり言を言う」「同じ言葉を繰り返す」等コミュニケーションがうまくとれません。そのような時は、内容が理解できるようにゆっくり簡単な言葉で話しかけましょう。

### ポイント2 やさしく声をかけ、危険であることを知らせましょう

「赤信号でも渡る」「車が来ても避けない」「遮断機が下りても線路に入る」等危険が分からない、助けを求めることができない場合があります。そのような時は、やさしく声をかけ危険であることを知らせましょう。

### ポイント3 落ち着ける場所に誘導しましょう

状況の変化に柔軟に対応できず、「ひっくりかえる」「泣きわめく」「飛び跳ねる」などのパニック行動が起こることがあります。そのような時は、落ち着ける場所に誘導しましょう。

### ポイント4 思い込みで判断せず、見守ってみましょう

「通行する人を無表情で見ている」「ぴょんぴょん跳ねたりする」「ひとつのことにこだわる」など誤解されやすい行動をする場合があります。そのような時は、思い込みで判断せず見守りましょう。